

## #09a\_わたカノ～寧音～

★…寧音

★「うう～すっぴ…んんっ、うわーん…」

★「ひっく…えへへ、ごめんね。その…あなたに選ばれて、  
嬉しい気持ちがワーッときちゃって」

★「なんか、勝手に涙が出てきちゃった…あはは」

★「本当に、ありがとう。寧音を選んでくれて…」

★「これで寧音があなたの正真正銘の本物彼女になれたね」

★「いや…元から、本物の彼女は、寧音だったんだけどね？ 本当だよ？」

★「だから…さ。寧音ね…あなたにお願いがあるんだ」

★「改めて、恋人の証が欲しいっていうか…  
あなたと結ばれた思い出が欲しいっていうか…」

★「だから、ね？」

★「ちゅっ！」

★「…あはは。これ、ずっとしたかったんだ」

★「そう…キス」

★「実はね、こういうことは本物の恋人がどっちか決まってからしようねって  
望海さんと約束してたんだ」

★「やっちゃったら、後戻りできなくなるだろうからって」

★「だからね。こうしてあなたと結ばれる日を夢見て。  
寧音、ずっとず～～～っと我慢してたんだよ！」

★「だから…もっと、もっと、キス…させてね？」

★「ちゅっ…ちゅっ…ちゅうううっ…！」

- ★「はあ…幸せ過ぎて、死んじやいそうだよお～」
- ★「あなたはどうか？ 寧音と同じ気持ちだったら嬉しいな♡  
あ、でもでも、本当に死んじやったら…寧音、許さないからっ！  
もちろん、寧音も死なないしっ！」
- ★「あなたはこれから寧音と一緒に、ずっとず～っと幸せになるの。  
ずっとず～～と！」
- ★「約束…するもん。だから、ちゅーしよ？」
- ★「んむっ…ちゅっ…ちゅっ…ふあっ♡  
ちゅっ…ちゅっ…ちゅ…んふっ…んっ！  
ちゅっ…ちゅううっ…ちゅう、ちゅう、んちゅっ…ちゅう♡」
- ★「はあ…はあ…これ、まずい。すっごくまずいよ…止められる気がしない…」
- ★「ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡  
好き…これすき…ちゅっ…んちゅっ…ちゅうううっ！  
んちゅっ…はふうっ…んちゅ…ふう…！」
- ★「ちゅっ♡ ちゅっ♡ あふうっ…♡  
唇と唇が触れ合うだけで…こんなに気持ちよくなれるなんて♡  
んっ、ちゅっ…ちゅっ…ふう…ちゅうううっ！」
- ★「好き…好き…好き…」
- ★「ちゅっ…ちゅっ…んふっ…ちゅっ、ちゅうううっ…はふう…  
んちゅ、ちゅっ…ちゅぶっ…んっ…」
- ★「はあ♡ はあ♡ はあ♡ ふう…♡ ねえ…」
- ★「もっと、も一っと、大人のキス…しよ？  
舌と舌を絡めあって、お互いのよだれを交換し合うやつ♡」
- ★「いくよ？ はあむっ…♡」
- ★「んちゅっ…むちゅっ♡ んちゅ♡ ああむっ♡ んんっ！  
れろ…れろ…んじゅちゅ…れろ…んんっ♡  
んちゅ…れろ、んれろ…れりゅ…れろろ♡」

★「はあ…はあ…幸せ♡ んちゅっ♡」

★「んあっ…あむっ…れろ…れろ…んんっ♡

んちゅちゅ…んれろ…れりゅ…れじゅ…んじゅぷちゅ♡

んふっ…あうっ…れろ、れろ、れりゅりゅ♡」

★「あふっ…んふっ…れろれろ…んじゅちゅ…んちゅっ…んっふう♡

れろれろ…えろえろ…んふっ♡

はうっ…んふっ…ちゅっ…れろれろれりゅりゅ♡」

★「これ…普通のキスよりももっとすごいね♡

幸せな気持ちがドバーって来ちゃってなんだか頭がクラクラしちゃう♡」

★「こんなの覚えちゃったら…もう一生キスの虜だよお♡」

★「あむっ…んじゅちゅ…ちゅりゅ…じゅりゅりゅりゅ…んれろっ♡

れろれろれろ♡ あふっ…んちゅ！ ちゅうううっ♡

んれろ、れろ…れろ…♡」

★「んりゅりゅ…んっふう♡ あむっ、れりゅれろ♡ んちゅ♡

ちゅぶぶうっ♡ はふっ、んちゅ、れりゅれろろろ♡ あっ♡

あふっ、んちゅ、ちゅ、ちゅ、ちゅうううっ♡」

★「はあ…はあ…はあ…あはは、見てみてえ」

★「あなたの口と寧音の口の間で、よだれが糸みたいに引いちゃってる…

なんだかすごいエッチだね♡」

★「もうちょっと…もうちょっとだけ大人のキスしよ♡ ね？

いいでしょう♡ はあ、むちゅうううっ！」

★「んふっ…んちゅ、じゅりゅじゅりゅ…んあっ♡

はふっ、んふっ、んんっ♡ んちゅりゅりゅ！

あふっ…んじゅ、れろれろ…れりゅっ、ちゅっ！」

★「んふっ、くうっ…ちゅっ！ ちゅりゅちゅりゅちゅぷんっ！

んふっ、ちゅりゅ…れろれろ…れりゅりゅ…んはあ♡

はうっ、んふう♡ れろ、んれろ…んちゅ、りゅりゅ…ぷはあっ！」

- ★「はあ…はあ…幸せな気持ちで、脳がクラクラするよお♡」
- ★「ねえ…あのさ。そろそろ…次のこと、やってみない？」
  
- ★「え～？ 女の子の口から、それ言わせるの？」
  
- ★「なんて…うふふちゃんと寧音の口から伝えるよ♡」
- ★「あのね…寧音…あなたとセックスがしたいんだ」
- ★「せっかく本物の彼女になれたんだし…その記念…っていうか、  
なんていうか…えへへ♡」
  
- ★「それに寧音ね、さっきのキスで火が点いちやっただって言うか…  
もうね…ここがすっごく切ないの」
- ★「そう、おまんこ…」
  
- ★「キスだけで、もうグチヨグチヨになって、  
あなたと繋がりがくてしょうがなくなっちゃった」
- ★「んっ…ふう…外から触っただけでも…  
こんな風に、なっちゃっててえ。大変なの」
  
- ★「だから…しょ？ ね？ しょお？」
- ★「ふふ…おちんちん、こんなに大きくしてくれていたんだね。嬉しい♡」
  
- ★「寧音もいつでも準備 OK だから、このまま…挿れちゃお？」
  
- ★「ふう…ふう…」
- ★「ああ…♡ ふう、んんっ！ おちんちんと、おまんこ…こすれてえ、  
たくさんエッチな音…出してるう♡」
  
- ★「はあ、はあ…んんっふう♡ もう挿れたい？ 挿れたいよね？  
そうだよ？ んんっ！ 寧音も…挿れて、ほしい…からあ♡ ふう」
  
- ★「ほら…来て♡ 来て♡  
あなたのおちんちんを、寧音の中にずぶぶ～って、挿れて？」
  
- ★「ほら、もう入り口に当たってるよ？ そのまま、寧音の膣内につ！」

- ★「くうっ…はああ～♡ はあ…はあ…♡ これ、すっごおいよお♡  
おちんちんが寧音の中を遠慮なく拵けてるうっ！」
- ★「ううん…はあはあ…ね、寧音は全然平気だよ？  
むしろ、初めてあなたと繋がれて、嬉しいっていうか…」
- ★「えへへ…初めてだったから。  
今まで、あなたとこんなこと、したことなかったし」
- ★「ふう♡ ふう♡ だから今日は、寧音とあなたが初めて繋がれた日…  
なんだよ♡ ふふっ♡」
- ★「んふっ…ちゅううっ…んちゅ、ちゅうっ♡  
れろ、れろ…んちゅうっ…んれろ…んふっ…ふう♡  
はあ…んふっ、ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡」
- ★「喜びのキス♡ なんちゃって♡ それじゃ、そろそろ動いていこうか♡」
- ★「んあっ！ あうっ！ んっ！ んふうっ！  
すごい…これ、あなたのおちんちんが、  
寧音のおまんこの中…どちゅどちゅかき回してえっ…！」
- ★「ああっ、うんっ…んんっ！ んはっ…あううっ…！ んうんっ！  
はあっ、はあっ！ だ、だめ…こんなにされたら…  
寧音、あなたのおちんちんの虜になっちゃうよおっ！」
- ★「あうっ…んんっ、んふうっ…ああああ…  
あえっ、んあっ…んんっ…あうう♡ あああ～えあっ、ああああ～♡」
- ★「ああっ…あなたは、気持ちいい？  
寧音の初めておまんこ…キツくて気持ちいい？」
- ★「ぎゅうぎゅうって、あなたのおちんちん離さない…寧音のおまんこっ…  
んっ！ くうううっ！ あうっ、んんふううううっ！」
- ★「ねえ…ちゅう…ちゅうしよお…今やったら、  
さっきよりももっとも～っと気持ちよくなる気がするのぉっ！」

- ★「はむっ、んうんっ…はあ、はあ…んうんんっ♡  
あうっ、あううっ、はあ…れりゅ…んちゅっ、ぷちゅうっ♡  
はあ♡ あう…んんっ、えあ…はうううう～♡」
- ★「あうう～幸せ♡ 幸せだよお♡ おちんちん挿れてもらいながらのキス♡  
こんなの覚えたら、寧音…もうだめかもお～んんんっ！」
- ★「はむっ♡ れりゅれりゅ♡ あむっ、んちゅっ、ちゅうう♡  
あふっ、あんっ、ああ…えああ♡ あうっ、うんっ♡  
あむっ…んちゅ、れろれろ…んふっ、んんっ、れろれろ♡」
- ★「ああっ、はあ…んんっ、はあ…はあ…あううん♡  
あのね、さっきからあなたのおちんちんが、  
寧音のおまんこの奥…どちゅ♡ どちゅ♡ って突いてるの♡」
- ★「寧音、あなたに出してほしいなあ♡ ドロドロの濃厚精子…♡  
おまんこの1番奥に、たくさん、たあくさん♡」
- ★「はあ♡ はあ♡ んんっ、はあ♡ だって、だってえ…♡  
こんなに幸せなのに、最後だけ外なんて嫌だもん♡  
んっ、ふっ…んんんっ！」
- ★「だから、ね♡ 出すなら膣内に、あなたの精子を出して♡」
- ★「寧音のおまんこはあ…あなた専用なんだってマーキング射精、してえ♡  
あうっ、はあっ、あんっ、んああああっ！」
- ★「好き♡ 好き♡ これ好き♡ 好きな気持ちが止まらないっ！  
んんっ♡」
- ★「んっ！ ふううううっ！ はあっ、ああっ！ んっ！ ああっ！  
あん♡ あん♡ んああん♡ あうっ…んんっ！ んっ！ んんんっ！」
- ★「あっ♡ あうっ♡ あふっ♡ あああんっ♡ そ、そろそろ出そうなの？」
- ★「いいよ♡ 出して♡ 出して出して出して♡  
だいしゅきなあなたの特濃精子で、  
寧音のおまんこの中を一杯にしてえ♡」

★「ほら♡ ほら♡ ほらあ♡

もう寧音のおまんこは、受け入れ準備万端だよ？

出しちゃお？ 今すぐ出しちゃお♡」

★「じゃないと寧音…もう、気持ちよすぎて…先にイッちやうもん♡」

★「あっ、あっ、あっ♡ あうっ♡ ああっああっああっあんっ♡

もう…らめっ♡ イこう？ 一緒に、イこう？」

★「んんっ！ 来て♡ 来て♡ 来て来て♡ いいよ♡ んっ♡

イク♡ イク♡ イクイクイクイク♡」

★「あっ♡ あっ♡ おちんちん、大きくなって♡

びゅ、びゅ、びゅう〜〜〜！」

★「んっ、んん〜〜〜っ♡ あなたの精子が…すごい、勢いでえ♡

びゅーっ、びゅーっ！ っっておまんこの1番奥にい〜っ！」

★「びゅるびゅる〜って、止まんないっ…

お腹の中、あなたの精子でいっぱいになってるう♡」

★「ああっ…んっ、んんっ…♡ すごく熱い♡ ああ、ふう…ふう…幸せえ♡」

★「ありがとう♡ おまんこの中いっぱい、寧音、幸せいっぱいだよ♡」

★「次する時も、また膣内に…たくさんびゅーって射精してね♡」

★「えへへ…」

★「こうして繋がれて、やっと実感が湧いてきたよ」

★「寧音が、あなたの本物の彼女さんだって♡」

★「これからも、よろしくね♡ …ちゅっ♡」